

資料②

令和7(2025)年度

## 審判員の目標2

### 『ゲームマネジメント』



1

## ゲームマネジメントする上での基本原則

- ・「明確」で「良好」なコミュニケーション  
→ボディランゲージ
- ・中断を可能な限り減らしたゲーム運営（ゲームの継続性）
- ・公平性 / バランス  
→同じ状況 - 同じ判定 攻撃側、防御側に対する同等の扱い  
ゲーム（60分）での一貫した基準
- ・選手の安心・安全の確保
- ・ハンドボールのイメージを守る  
→シミュレーション/プロボケーション/オーバーリアクション
- ・魅力あふれるスピーディーなゲーム展開を促す

2

## ゲームマネジメントする上での基本原則

- ・競技終了間際  
→あらゆる判定は重要となる  
罰則よりもボールの所持の方が重要となる
- ・競技終了前30秒間（競技規則8：11(a)(b)）
- ・失格、報告書を伴う失格の状況
- ・ピボットゾーン
- ・ベンチ管理
- ・テクニカルオフィシャルの重要性
- ・「レフェリー」としての毅然とした自信ある態度

3


## ゲームマネジメントする上での基本原則

- ・「明確」で「良好」なコミュニケーション  
→ボディランゲージ
- ・中断を可能な限り減らしたゲーム運営（ゲームの継続性）
- ・公平性 / バランス  
→同じ状況 - 同じ判定 攻撃側、防御側に対する同等の扱い  
ゲーム（60分）での一貫した基準
- ・選手の安心・安全の確保
- ・**ハンドボールのイメージを守る**  
→シミュレーション/プロボケーション/オーバーリアクション
- ・魅力あふれるスピーディーなゲーム展開を促す

4

## ①ハンドボールのイメージを守る

近年、ファールをされていること、あるいはファールを受けているかのように大袈裟にアピールすることで、「レフェリーの判断を欺こうとする」



「相手の違反の影響を誇張する」行為がOF・DFの双方に見受けられるようになった。このような行為は、ハンドボールのイメージを悪くするだけではなく、競技力向上の観点からも大きな課題である。

「2024年IHFが発行した競技規則書」に「プロボケーション」「オーバーリアクション」「シミュレーション」という言葉を用いて、OF・DF双方のそういった行為をコート上から排除して、**ハンドボールというスポーツを守ろう**としている。

5

## ①ハンドボールのイメージを守る

### プロボケーション オーバーリアクション

☞**防御側・攻撃側双方**

- ・「**プロボケーション**」  
相手の違反を誘発させる行為
- ・「**オーバーリアクション**」  
軽微な違反を大袈裟にする行為  
違反は受けているが、その表現方法が大袈裟

そういった行為により「レフェリーの判断を欺こうとする」「相手の違反の影響を誇張する」こと。

☞8の7(d)により罰則を段階的に適用する




6

①ハンドボールのイメージを守る

## プロボケーション オーバーリアクション

② 防御側・攻撃側双方

③ 8の7(d)により罰則を段階的に適用する

プロボケーション



意味らしい判定



明らかにプロボケーション  
②へ段階的罰則を



試合を中断して注意は避けるべき  
試合経費でもあり、1つ目の場面で2分間退場とする

オーバーリアクション



意味らしい判定



後半でもあり、2分間退場とする



攻撃側のフリースロー  
経費にさしかかっている場面、②を2分間退場とする

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

7

①ハンドボールのイメージを守る

## シミュレーション

② 防御側・攻撃側双方

「シミュレーション」

当該部位への身体接触がほんのわずか、あるいは全くない状況で、違反があったかのように見せかけ、相手に不当な罰則をレフェリーに適用させようとする。

レフェリーが明らかだと判断したら罰則を適用します。

③ 8の8(g) 即座に2分間退場を判定

全ての人に伝わるBLで、インフォメーションを行う。

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

8

①ハンドボールのイメージを守る

## シミュレーション

② 防御側・攻撃側双方

レフェリーが明らかだと判断したら罰則を適用します。

③ 8の8(g) 即座に2分間退場を判定



意味らしい判定



明らかにシミュレーション  
即座に2分間退場が必要

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

9

①ハンドボールのイメージを守る

## PVゾーンなどユニフォームを掴むプレー



※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

10

①ハンドボールのイメージを守る

## OFが掴むケース



ハンドボールをイメージを守るためにも、  
CR・GRで協働して管理する

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

11

①ハンドボールのイメージを守る

## OFがユニフォームを掴むケース



明らかにオフェンスファウル  
「引っ張った」ことを全員に伝えることが必要

オフェンスファウル  
CRとGRが通信機器を使い協働作業が必要

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

12

①ハンドボールのイメージを守る

## CR・GRが協力してPVゾーンの攻防を管理している



※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

13


## ゲームマネジメントする上での基本原則

- 「明確」で「良好」なコミュニケーション
  - ボディランゲージ
- 中断を可能な限り減らしたゲーム運営（ゲームの継続性）
- 公平性 / バランス
  - 同じ状況 - 同じ判定 攻撃側、防御側に対する同等の扱い
- ゲーム（60分）での一貫した基準
- 選手の安心・安全の確保**
- ハンドボールのイメージを守る
  - シミュレーション/プロボケーション/オーバーリアクション
- 魅力あふれるスピーディーなゲーム展開を促す

14

②選手の安心・安全の確保

## 安心・安全なゲーム運営



- ◆ ハンドボールの概念
  - ハンドボールの競技規則の精神は…
  - 相手の身体を傷つけることなく** である。


↓

8 : 4、8 : 5、8 : 6の適用 … 競技規則第8条の理解  
 Long step、Foot on Foot、GKの頭部直撃 など  
 プレーヤーの安全面を阻害するようなプレーは**許されない**

15

②選手の安心・安全の確保

## 試合開始15分で基準を示し、その基準を試合終了まで維持




- ・ 8 : 1（許される行為）、8 : 2（許されない行為）、8 : 3（罰則あり）の違いを**明確**に示す
- ・ 8 : 4についての判定（**開始直後**であっても）
- ・ 8 : 5、8 : 6（**危害**を及ぼす行為）
- ・ **予防的行動・コミュニケーション**  
（口頭での注意、ボディランゲージ）

16

②選手の安心・安全の確保

## 競技規則第8条の理解




- 8 : 1 許される行為
- 8 : 2 罰則の適用に相当しない違反行為
- 8 : 3 罰則を適用する違反行為  
どの罰則を適用するかについての判断基準
- 8 : 4 即座に2分間退場を判定すべき違反行為
- 8 : 5 失格として判定すべき違反行為
- 8 : 6 意図的で、危険かつ悪質な違反行為による失格（報告書を伴う）

17

②選手の安心・安全の確保

## 競技規則第8条の理解

スポーツマンシップに反する行為



- 8 : 7 罰則を段階的に適用すべき行為
- 8 : 8 即座に2分間退場を判定すべき行為
- 8 : 9 失格と判定すべき行為
- 8 : 10 報告書を伴う失格とすべき行為
- 8 : 11 競技終了前 30 秒間における失格と  
7 m スローとすべき行為または不正な行為

18

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…ユニホームをつかむプレー

8の2(c) 相手が自由にプレーを継続できるような状態であったとしても、身体やユニホームを捕まえること。

8の3 明らかに（ボールではなく）相手の身体を狙った違反に対しては、罰則を適用しなければならない。

8の4 危険性を軽視した違反行為（b）捕まえ続ける

19

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…ユニホームをつかむプレー  
両レフェリーによる「任務分担」を超えた協働作業



GRからは見えないかも…  
CRの方が見やすい場合もある。  
協働作業で管理する。

20

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…攻撃側がユニホームをつかむ場合も



21

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…ウィングシュートに対するディフェンス

☆『Long Step』と『Foot on Foot』

◆防御側の動きと位置（ゴールエリアの内 vs 外）

- ①接触が起こる前の動き
- ②接触の時の位置
- ③防御側の足の動き
- ④防御側が攻撃側に向かって接触する



22

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…ウィングシュートに対するディフェンス

☆『Long Step』と『Foot on Foot』

①1つ目の場面（14分11秒）  
シューターが先に足を踏み込んだ。その後に、DFが接触を試みた。その時、DFの足はシューターの足と接触した。→たとえば、得点を決めたとしても、DFを直接の2分間退場とするべきである。

②2つ目の場面（15分35秒）  
7mT + 直接の2分間退場  
→もし、①の場面でDFに罰則を与えていれば、この場面を防ぐことができたかもしれない。

※本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

23

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…ウィングシュートに対するディフェンス

☆『Long Step』と『Foot on Foot』…大きな影響の例

①シューターが先に足を踏み込む動作。  
②その後、DFが足の前に踏み出した。  
※シューターにはもはや踏み込んだ足をどうすることもできない。  
→先にその位置を取ったのはシューターと考える。

③『Foot on Foot』の状況となる。  
④シュートが外れれば7mTの判定。  
⑤得点を決めたとしても、少なくとも2分間退場の判定。  
→シューターに大きな影響があれば、失格。

※本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

24

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解⑤  
…8：5(a) 失格と判定すべき違反行為

高速で走っているプレーヤーの背後から、明らかに身体のコントロールを失うプレーヤーは、違反を予期できず身体を守れないような状況であり、とても危険である。  
レッドカードの判定は正しい。

Topic 2  
レッドカード  
映像1 KSA-AUT

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

25

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解⑥  
…8：6 意図的で、危険かつ悪質な違反行為による失格

報告書を伴う失格  
(a)あまりにも無謀な行為、またはあまりにも危険な行為  
(b)競技の状況とかけ離れた意図的で悪質な行為

ブルーカードの判定が必要

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

26

②選手の安心・安全の確保

★競技規則第8条の理解  
…8：8(d) 即座に2分間退場を判定すべき行為  
(スポーツマンシップに反する行為)

ゴールキーパーと1対1の状況で頭部にボールが直撃した。ボールの軌道も明らかに変わっているため、即座に2分間退場とする。

即座に2分間退場が必要

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

27

②選手の安心・安全の確保

★安心・安全のためのゲームマネジメント①

罰則を出すことなくゲームマネジメントするには？  
→コミュニケーションの取り方が重要

事前にはできたことはなかっただろうか？  
口頭注意、ボディランゲージなどで予防できることもある

28

②選手の安心・安全の確保

★安心・安全のためのゲームマネジメント②  
…言葉かけの工夫

◆ リーダーシップ、誠実さから発せられるべき言葉とは？

「はい、入場して」 「ベアにも伝えておくから」  
「ポイント、ここだよ」 「ありがとう サンキュー」  
「ユニホーム、つかまないよ」 「そのまま続けていいよ」  
「先に位置を取ってしっかり止まっているからOKだよ」  
「Play on」 など…

29

②選手の安心・安全の確保

★安心・安全のためのゲームマネジメント③  
…ボディランゲージの活用

ボディランゲージを使用→周囲に具体的に伝わりやすい  
※ボディランゲージが優先されないように気を付ける

※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。

30

③ 公平性 / バランス

## ゲームマネジメントする上での基本原則

- ・「明確」で「良好」なコミュニケーション  
→ ボディランゲージ
- ・中断を可能な限り減らしたゲーム運営（ゲームの継続性）
- ・公平性 / バランス  
→ 同じ状況 - 同じ判定 攻撃側、防御側に対する同等の扱い  
**ゲーム（60分）での一貫した基準**
- ・選手の安心・安全の確保
- ・ハンドボールのイメージを守る  
→ シミュレーション/プロボクシング/オーバーリアクション
- ・魅力あふれるスピーディーなゲーム展開を促す

31

③ 公平性 / バランス

## バランス vs アンバランス

- 判定のバランスはとても重要である。これはつまり、多かれ少なかれ似たような行為には同じような判定をすることを意味する。  
退場の数、7mスローの回数などが同じであることは、必ずしもバランスが良いとは限らない。
- バランスを取るということは、ミスの埋め合わせをすることではない。  
レフェリーが「平等」であることを意図しており、以前のミスは理由にそのミスを取り繕うとすることを望んではいない。
- レフェリーはパーソナリティーと明確なBLを用いて、周囲とコミュニケーションを取ったり、なぜその判定をしたのかを発信する。

32

③ 公平性 / バランス

## バランス vs アンバランス

- ① 一方は2度の退場、もう片方は罰則なしの7mスローのみ  
→ **アンバランス**
- ② 似たようなプレーに対する異なる判定  
※（約1分40秒間の間に）**近い時間帯**であればあるほど...
- ③ 60分間のゲームマネジメントとして考えた際のアンバランス  
→ 積極的な防御活動（黄） vs 通常の防御活動（緑）  
→ 戦術が異なるチームにおけるレフェリーの判定  
※ 本研修内で活用する映像は、研修の一つとして提示しています。


33

③ 公平性 / バランス

## 最後に

レフェリーには、様々な手段を使いリーダーシップを発揮し、プレーヤーの**安心・安全**を保障し、**ハンドボールのイメージを守り、公平なジャッジ**をすることが求められています。

そのために、最新の動向や情報を共通理解し、レフェリングの向上を図り、ハンドボール界の更なる発展につなげていけたらと思います。



競技・審判本部

34